



東京女子医科大学病院 内科専門研修プログラム 説明会



日時: 2022年7月9日 (土) 14:00~15:30

- ◆ 第一部: プログラム全体および各内科研修の説明
 - ◆ 第二部: 現役内科専攻医を交えた座談会・質疑応答
- 参加方法: WEBまたは現地 (本学彌生記念教育棟3階)
※詳細は、QRコードまたは下記URLからご参照ください

URL: <http://www.twmu.ac.jp/info-twmu/iryorensi/entrance-info.html>



2022年7月9日(土)

東京女子医科大学病院 内科専門研修プログラム説明会

プログラムの概要

プログラム統括責任者 馬場園 哲也

概要

- 東京女子医科大学病院を基幹施設として、首都医療圏を中心とした当院関連病院を連携施設として内科専門研修を行います。
- 研修期間は、基本的には3年間ですが、4年間コースも設定しています。
- 2023年度募集定員予定(東京都のシーリングによる)
 - 22名 通常枠 16名(連携施設での研修1年以上)
 - 連携プログラム枠 6名(連携施設での研修1.5年以上)
- 2023年4月より内科専門研修プログラム専攻医(以下専攻医)として研修を開始し、学内では「後期研修医」として各科に所属します。

東京女子医科大学病院

許可病床数 1,193床
(一般:1,147床、精神:46床)

職員数(令和4年4月現在)
医師 762名
看護師 1,033名
その他 669名
合計 2,464名

令和3年(1日平均)
外来患者数:
3,265人
入院患者数:
697人



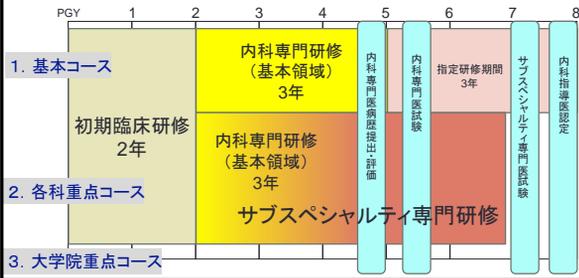
東京女子医科大学病院内の内科部門

- 血液内科
- 高血圧・内分泌内科
- 内分泌内科
- 糖尿病・代謝内科
- 腎臓内科
- 血液浄化療法科
- 循環器内科
- 消化器内科
- 消化器内視鏡科
- 脳神経内科
- 呼吸器内科
- 膠原病リウマチ内科
- 化学療法・緩和ケア科
- 総合内科・総合診療科
- 感染症科、集中治療科

常勤医: 220 名
指導医: 93 名

総合内科専門医: 79 名
Subspecialty専門医: 223名

当院内科専門研修プログラムの3コース

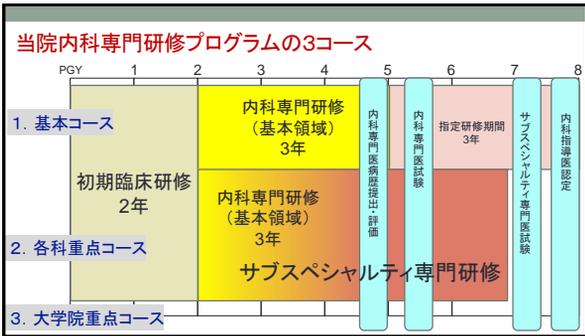


基本コース ローテーション例

- 3年間の内科専門研修に集中し、総合内科専門医に該当する「内科指導医」取得も目指すコース。
- 内科専門医を目指すサブスペシャリティ領域が決まらない専攻医は、基本コースでスタートし研修途中で希望する領域が決まれば、各科重点コースへ変更することが可能です。
- 本コースを選択した場合は、入局は総合診療科となります。

これまで2名の専攻医がこのコースを選択

専攻医研修	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科1	内科2	内科3	内科4	内科5	内科6	1年目にJMECCを受講					
2年目	内科7	内科8	内科9	救急	当直は内科系当直で研修			その他(感染症など)・予備 内科専門医取得のための必要提出準備				
3年目	連携施設 総合内科、地域医療、初診+再診外来 週1回担当 領域で症例経験の足りないところを重点的に研修											



各科重点コース ローテーション例

- 本コースには、3年研修型と4年研修型があります。
- 研修開始直後の2〜3か月間は希望するサブスペシャルティ領域診療科にて初期トレーニングを行ったのちに、内科各領域の専門研修を行います。
- なお、本コースを選択した場合は将来希望するサブスペシャルティ領域の診療科へ入局します。

専攻医研修	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	入局内科にて初期トレーニング		他内科1			他内科2		他内科3		他内科4		感染症
	1年目にJMECCを受講/当直は内科系当直で研修											
2年目	救急			サブスペシャルティ研修			連携施設					
	総合内科、地域医療、初診+再診外来 週1回担当											
	内科専門医取得のための履歴提出準備											
3年目	連携施設						サブスペシャルティ研修					
	総合内科、地域医療、初診+再診外来 週1回担当											
	領域で症例経験の足りないところを重点的に研修											

各科重点コース

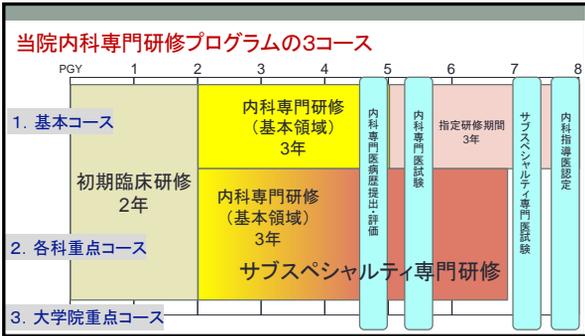
大半の専攻医がこのコースを選択

- 本コースは、女子医大の特徴である高度な専門性を持つ内科系サブスペシャルティの専門医取得を目指す研修プログラムの一環として位置づけ、内科専門医取得に必要な基本領域の修得と並行しながらサブスペシャルティ領域の専門研修を融合しています。
- 内科全領域の豊富な症例数と指導医がいる当院で可能なコースであり、最短で基本領域の到達基準をクリアし、サブスペシャルティ領域の専門研修が早期より開始できるのが特徴です。

新制度になって、内科領域は専門医を取るまでより時間がかかるようになったのではないかな？

NO !

- サブスペシャルティ専門医取得までの年数は、旧制度(認定内科医・総合内科専門医→サブスペシャルティ専門医)と変わりません。
- 3年間で社会的に認定された内科専門医を取得できます。



各科重点コース 4年研修型ローテーション例

- 4年研修型では、他科ローテーション後、2年目の1年間はサブスペシャルティ研修期間とし、3年目に連携施設での内科研修を行います。
- 4年目は基幹施設での研修を再開し、前半は領域で症例経験の足りないところを重点的に研修し、後半はサブスペシャルティ研修期間とします。
- ライフイベントに応じてフレキシブルなローテーションを作ることができます。

専攻医研修	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	入局内科にて初期トレーニング		他内科1			他内科2		総合内科		救急		感染症
	1年目にJMECCを受講・初期研修時の実績をみて内科領域を選択											
2年目	入局科にてサブスペシャルティ研修											
	連携施設											
3年目	総合内科、地域医療、初診+再診外来 週1回担当											
	領域で症例経験の足りないところを重点的に研修											
	内科専門医取得のための履歴提出準備											
4年目	他内科4		他内科5		他内科6		入局科にてサブスペシャルティ研修					
	領域で症例経験の足りないところを重点的に研修											

ローテーション・スケジュールはフレキシブル

担当指導医が専攻医と相談しながらローテーション・スケジュールを作成して、年度初めにプログラム内で調整後決定しますが、その後の進捗状況によって途中で変更することも可能になっています。

- ・ 症例が不足している領域への研修スケジュール変更
- ・ 症例が充足したため、予定されていた領域の研修をサブスペシャルティ研修に変更

など

* 第二部で当院の専攻医が、具体的にどのようなローテーションで専門研修が進んで認定修了に到達したかお示します。

大学院重点コース

- ・ 本コースでは、内科専門医研修を行ないながら大学院に所属して医学研究を行い、内科専門医取得とともに博士(医学)取得も可能とある。
- ・ 内科全領域の豊富な症例数と多くの指導医、そして医学研究者が指導にあたる女子医大病院では基本領域の到達基準をクリアしつつ、十分な時間を研究に割くことができるのが特徴。

専攻医研修	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	入局内科初任科ローテーション		連携施設									
1年目	1年目にJMECCを受講											
	総合内科、地域医療、初診+再診外来 週1回担当											
2年目	〇〇内科学 大学院 (内科各科で一般研修は継続する、2か月ごとローテーションを想定)											
3年目	〇〇内科学 大学院 (内科各科で一般研修は継続する、2か月ごとローテーションを想定)											
4年目	〇〇内科学 大学院 (内科各科で一般研修は継続する、2か月ごとローテーションを想定)											
	領域で症例経験の足りないところを重点的に研修											

連携病院:

●東京都(21施設)

東京女子医科大学附属足立医療センター、国立病院機構東京病院、多摩総合医療センター、多摩北部医療センター、大久保病院、都立大塚病院、都立駒込病院、健康長寿医療センター、JCHO東京山手メディカルセンター、東京労災病院、至誠会第二病院、城西病院、荻窪病院、練原記念病院、公立昭和病院、河北総合病院、八王子消化器病院、立正佼成会附属佼成病院、関東中央病院、心臓血管研究所付属病院、西新井ハートセントラルクリニック

●千葉県(3施設)

東京女子医科大学八千代医療センター、谷津保健病院、キッコーマン総合病院

●神奈川県(7施設)

国立病院機構横浜医療センター、川崎市立井田病院、川崎市立川崎病院、横浜労災病院、JCHO相模野病院、海老名総合病院、日本鋼管病院

各地域の基幹病院が揃っていて、こちらでもしっかりと指導医のもと内科研修、サブスペシャルティ研修ができます。

連携病院

●埼玉県(7施設)

戸田中央総合病院、TMGあさか医療センター、自治医科大学附属さいたま医療センター、済生会加須病院(旧栗橋)、済生会川口総合病院、さいたま赤十字病院、さいたま市立病院

●茨城県(8施設)

茨城県立中央病院、西山堂慶和病院、牛久堂和総合病院

●群馬県

日高病院

●山梨県

大月市立中央病院

●宮城県

仙台循環器病センター

●新潟県

立川綜合病院

●静岡県

聖隷浜松病院

●大阪府

国立循環器病センター

●熊本県

済生会熊本病院

指導医体制: 担当指導医(メンター)と配属先指導医を置く

専攻医1名について、入局した科で3年間の研修全体を通しての担当指導医1名を置きます。担当指導医は、担当する専攻医がどこで研修中であるかに関わらず、研修の進捗状況をモニターして専攻医にアドバイスを行います。

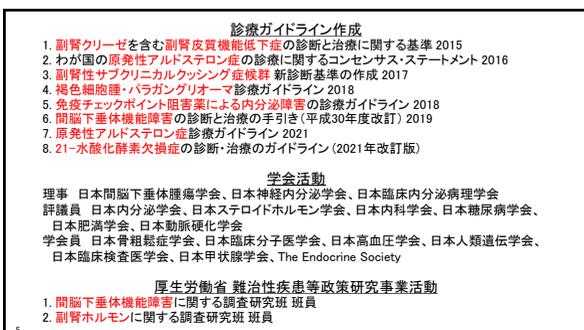
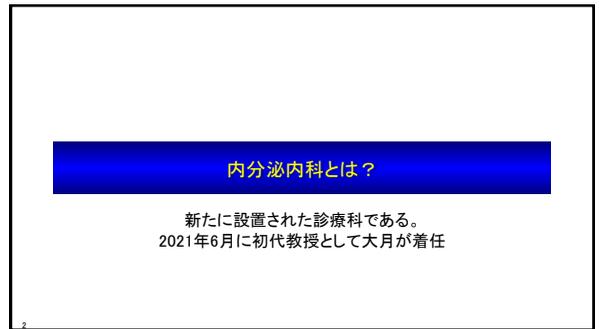
ただし、当院・連携施設ローテーション中の各部署での具体的な研修指導と評価は、配属先の指導医が行います。



評価と修了判定

統括責任者はJ-OSLERを用いて研修内容を評価し、以下の修了を確認します。研修プログラム管理委員会で合議のうえ修了判定を行います。

1. 主担当医として全70疾患群のすべてを経験し、200症例以上を経験することが目標ですが、修了認定には、主担当医として56疾患群以上、160症例以上の症例を経験し、登録することが必要。
2. 29編の病歴要約が内科学会二次評価を経て受理されていること。
3. 所定の2編の学会発表または論文発表
4. JMECC受講: * 院内で開催しています。
5. プログラムで定める講習会受講(医療安全、感染対策、倫理)
6. 指導医とメディカルスタッフによる360度評価



サブスペシャリティ 内分泌代謝・糖尿病領域専門医に関して

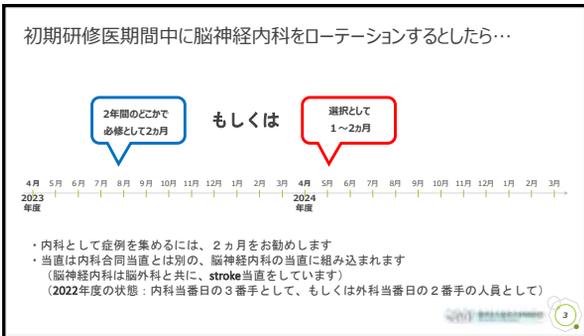
日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医、指導医
日本糖尿病学会 糖尿病専門医、指導医

↓
内分泌代謝・糖尿病内科領域指導医

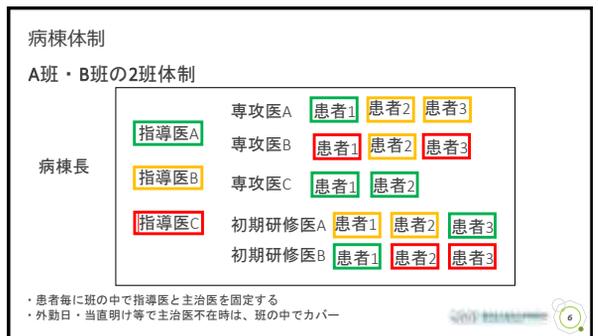
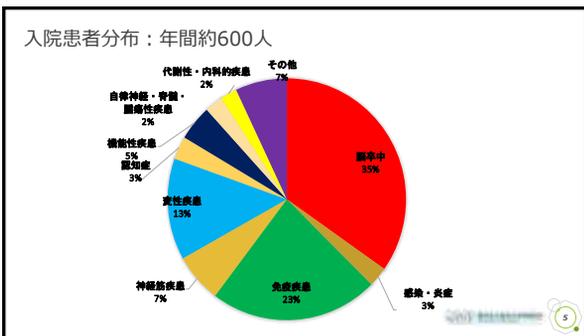
糖尿病・代謝内科学分野と協力して研修を行う。

ご静聴ありがとうございました。

Hagaparken in Stockholm, October, 2013



- J-oslerにおける神経内科の9疾患群 (Aのみ抜粋)
- A: 主治医として自ら経験した
- 脳梗塞・TIA・脳出血・その他の血管障害
脳梗塞、TIA、脳出血
 - 感染症、炎症性疾患
髄膜炎・髄膜炎、脳膿瘍、帯状疱疹
 - 中枢性脱髄疾患・免疫異常による末梢神経疾患と筋疾患
ギラン・バレー症候群
 - 末梢神経疾患・筋疾患
糖尿病性・ビタミン欠乏性・中毒性ニューロパシー、単ニューロパシー、神経痛
 - 変性疾患
パーキンソン病
 - 認知症
アルツハイマー病、レビー小体型認知症、血管性認知症
 - 機能的疾患
良性発作性頭位性めまい症、メニエール病、てんかん、片頭痛・緊張型頭痛・群発頭痛、本態性・老人性振戦
 - 自律神経疾患・脊椎脊髄疾患・運動性疾患
起立性低血圧、神経調節性失神、神経損傷・脊髄症
 - 内科疾患・先天異常・精神疾患に伴う神経疾患
肝・腎・内分泌疾患に伴うもの



医局員

例年、院内にはスタッフを含めて20名程度在籍

近年の入局者数

- ・ 2022年度：0名
- ・ 2021年度：1名
(中途1名)
- ・ 2020年度：6名
- ・ 2019年度：3名
- ・ 2018年度：4名

医局員出身大学

・大阪大学・東北大学・金沢大学・群馬大学・北海道大学・東京女子医科大学・東京医科大学・東海大学・独協医科大学・北里大学・埼玉医科大学・昭和大学・札幌医科大学・北京大学・復旦大学

OB/OG出身大学

・東京大学・京都大学・弘前大学・秋田大学・山形大学・富山大学・三重大学・鳥取大学・産業医科大学・京都府立医科大学・金沢医科大学・帝京大学・杏林大学・岩手医科大学



脳神経内科 ▲
医局長 鈴木美紀 ↓
neurology.cw@twmu.co.jp
<http://twmu-neurology.jp/>

見学は随時受け付けております
お気軽にお問い合わせください

東京女子医科大学 循環器内科 TWMU Division of Cardiology

☆多東京女子医科大学循環器内科HP
<http://twmu-cardiology.jp/>
☆多Facebook
<https://www.facebook.com/TWMU.HJ/>
☆多医局長アドレス
meditop.au@twmu.ac.jp

当科の特徴

患者さんのための
Cardiology

山口淳一教授

検査・診断・治療

- 画像診断
- 心エコー
- 核医学・CT/MRI/PET
- 心血管カテーテル検査・治療
- TAVI・Mitra Clip
- カテーテルアブレーション
- ペースメーカー
- ICD・CRT-D
- デバイス撤去(エキシマレーザー)
- Impella・VAD・心臓移植
- 心臓リハビリテーション

研究

- 臨床研究
- 基礎研究
- 多施設共同研究

多種・多様な疾患を経験することができます。

循環器科：約15ヵ月
他科内科：約3-6ヵ月
EMD：約3ヵ月

●2022年度後期研修医ローテーション

1年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
EP	ECU	循環	循環	血内	脳神経	リウマチ	循環	カテ	CCU	リハ	リハ	循環
カテ	CCU	カテ	循環	内分	循環	カテ	リウマチ	脳神経	EP	ECU	CCU	

2年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
CCU	内分	CCU	循環	ECU	カテ	リウ	CCU	カテ	カテ	腎内	循環	ECU
カテ	循環	循環	カテ	循環	CCU	CCU	カテ	腎内	循環	消化器	ECU	
ECU	腎内	内分	消化器	リウ	リウ	消化						
循環	カテ	腎内	CCU	カテ	内分	循環	リウ	循環	CCU	CCU	EP	

ローテーション: 内科+循環器 2年間, 関連病院出向 3-4年間, 大学院(4年間), 出向 or 字内指導医, 後期臨床研修医, 助教

学位: 内科専門医, 循環器専門医

1年間のカテーテル件数 **2200件**

1年間のPCI件数 **500件**

1年間のEVT件数 **320件**

1年間のTAVI件数 **120件**

1年間のMitraClip件数 **30件**

TWMU
Tokyo Women's Medical University

弁膜症

大動脈弁狭窄症(AS) TAVI

僧帽弁閉鎖不全症(MR) Mitra Clip

カテーテル治療の発展に伴い治療対象の拡大、カテーテル治療？外科治療？患者にとって最適な治療は？総合的に判断する。

人工心臓・心臓移植

CRD

LVAD

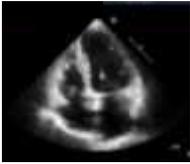
リハビリ室

心機能回復

LVADでの移植待機期間を安全にサポート
移植後もよりよい患者の人生のために管理

心不全・薬物治療

HFpEF preserved ejection fraction
diastolic dysfunction



- ✓ 利尿薬
- ✓ 合併症に対する治療が重要
(高血圧、腎不全、心房細動、貧血、糖尿病…)

HFrEF reduced ejection fraction
systolic dysfunction



- ✓ ACE阻害薬/ARB,
- ✓ β 遮断薬,
- ✓ ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬
- ✓ イブプロジン
- ✓ ARNI
- ✓ ダバダリフロジン (SGLT2阻害薬)

エビデンスにもとづいた治療の提供

不整脈に対するカテーテルアブレーション治療

- ✓ 最新機器がすべて使用可能
- ✓ 不整脈治療がより身近で理解しやすくなった

心房細動に対する最新機器



心房細動に対するバルーンカテーテルアブレーション



アブレーション



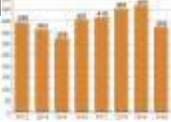
カテーテルアブレーション

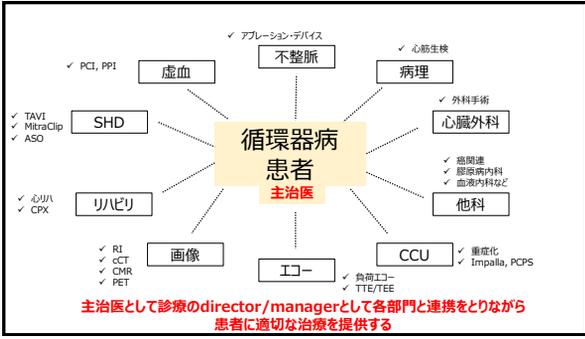


レーザーアブレーション



不整脈カテーテル治療





循環器内科 入局説明会 2022

- 2022年7月23日 16時～
- 入局説明会開催!
- 参加希望連絡は医局長まで
meditop.au@twmu.ac.jp



新入局員募集

2022年7月23日(土) 16時～

APF直営施設 Web

東京女子医科大学医学部内科学講座 呼吸器内科学分野
2022年度 内科説明会



医療練士 研修スケジュール

	研修場所	内容
1年	病棟、検査	入院患者の診断・治療・管理、画像診断、気管支鏡、呼吸機能検査、肺生検、肺病理、学会発表、 内科ローテーション
2年	地域研修	入院患者の診断・治療・管理、画像診断、気管支鏡、呼吸機能検査、肺生検、肺病理、学会発表
3年	病棟、検査	入院患者の診断・治療・管理、画像診断、気管支鏡、呼吸機能検査、肺生検、肺病理、学会発表
4年	病棟、検査、外来	入院・外来患者の診断・治療・管理、気管支鏡、呼吸機能検査、肺生検、肺病理、学会発表、臨床呼吸機能講習会受講、 総合内科専門医試験
5年	病棟、検査、外来	入院・外来患者の診断・治療・管理、気管支鏡、呼吸機能検査、肺生検、肺病理、学会発表、 呼吸器学会専門医試験

呼吸器内科 週間スケジュール

月	午前		午後	
	抄読会	病棟	気管支鏡検査 (TBLD)	放射線カンファレンス (画像診断科)
火	病棟 気管支鏡検査 (TBNA)	病棟		
水	病棟	病棟	気管支鏡カンファレンス	
木	新患報告 退院報告	教授回診	気管支鏡検査 (TBLD)	クリニカルチェックカンファレンス (呼吸器外科、画像診断科、病理診断科)
金	病棟 気管支鏡検査 (TBNA)	病棟		
土	病棟			

連携病院・留学など

東京都保健医療公社大久保病院、済生会加須病院、東京女子医大八千代医療センター、茨城県立中央病院、国立病院機構東京病院など

地域研修先の病院は、皆さんと相談して決めていきます。

海外留学も可能で、これまで多くの医師が経験しています。留学先は、バージニアコモンウェルス大学、ブリティッシュコロンビア大学、カリフォルニア大学、ピッツバーグ大学、ネブラスカ大学、ハーバード大学、スタンフォード大学 等。

経験できる症例

- ・アレルギー疾患 (気管支喘息、好酸球性肺炎、過敏性肺炎、サルコイドーシスなど)
- ・間質性肺炎 (特発性間質性肺炎、膠原病肺など)
- ・慢性閉塞性肺疾患
- ・感染症 (肺炎、胸膜炎、結核、真菌症など)
- ・腫瘍 (肺癌、縦隔腫瘍、胸膜中皮腫など)
- ・睡眠時無呼吸症候群

分野は多岐にわたり、多くの症例を経験することができます。

経験できる手技・治療

- ・人工呼吸管理 (NIPPV)
- ・胸部画像診断 (胸部CT、PET)
- ・気管支鏡
- ・呼吸機能検査
- ・胸腔ドレナージ、胸水穿刺
- ・緩和治療
- ・禁煙治療

様々な手技、治療を経験することができます、今後の診療に生かすことができます。

医局長 [八木理充yagi.osamitsu@twmu.ac.jp](mailto:yagi.osamitsu@twmu.ac.jp)まで連絡ください。
Twitterも始めました。東京女子医大呼吸器内科【公式】



アットホームな精鋭集団です。
私たちと一緒に働きましょう！！



 TWNU Hematology

東京女子医科大学 血液内科 医局説明会



血液専門医取得までのフロー

卒業 年数	1	2	3	4	5	6	7	8
初期研修			修了 認定					
	女子医大 その他研修施設							
			後期研修 血液専門研修					
			TWNU本院 血液内科 八千代医療センター(半年) 多摩北部医療センター(半年)					
							内科 専門医	
								血液 専門医
								TWNU本院 血液内科 血液内科 関連医療機関

 TWNU Hematology

血液内科 週間スケジュール

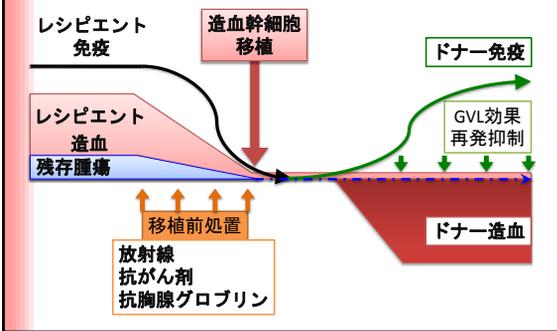
曜日	朝	午前	午後
月		病棟業務	病棟業務
火		病棟業務	骨髄検査
水	抄読会	教授回診	症例検討会 移植カンファレンス リサーチカンファ 病理カンファレンス(月1)
木		病棟業務	骨髄検査
金		病棟業務	病棟業務
土		チャート回診 (第3土曜日なし)	

- ## 血液内科で経験できる疾患
- 造血器腫瘍
 - 急性白血病 (ALL/AML)
 - 骨髄増殖性疾患 (多血症、本態性血小板血症、骨髄繊維症)
 - リンパ系腫瘍 (多発性骨髄腫、悪性リンパ腫)
 - 造血不全
 - MDS/再生不良性貧血 etc.
 - 同種造血幹細胞移植 ~ GVHD
 - 貧血疾患 (溶血性貧血 etc.)
 - 血栓/血小板疾患/凝固異常 (ITP, 血友病)
 - 免疫不全に伴う様々な感染症
 - その他
 - POEMS症候群、キャッスルマン病、アミロイドーシス

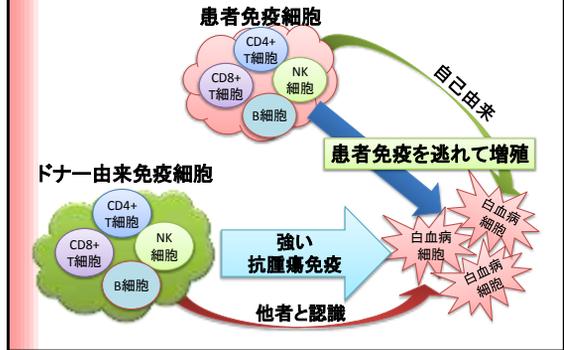
- ## 血液内科で経験できること
- 造血器腫瘍に対する化学療法
 - 造血幹細胞移植
 - 免疫抑制患者の管理
 - 輸血療法の管理
 - 侵襲的手技
 - 中心静脈カテーテル挿入
 - 骨髄検査/採取
 - 腰椎穿刺

- ## 造血器腫瘍に対する化学療法
- 強力な化学療法
 - 分子標的薬
 - チロシinkinナーゼ阻害薬、JAK2阻害薬
 - プロテアソーム阻害薬、HDAC阻害薬 etc.
 - 抗体療法
 - 抗CD20抗体などモノクローナル抗体
 - 抗CD30抗体/MMAE (ドラッグデリバリー)
 - 免疫チェックポイント阻害薬
 - BiTE抗体 二重特性T細胞誘導抗体
 - CAR-T療法

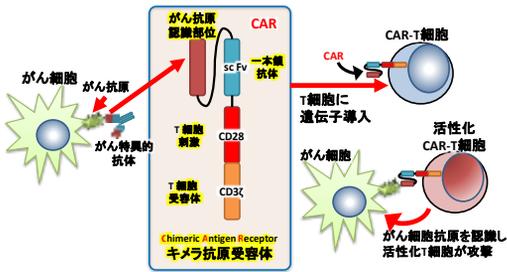
造血幹細胞移植の手順



同種免疫効果

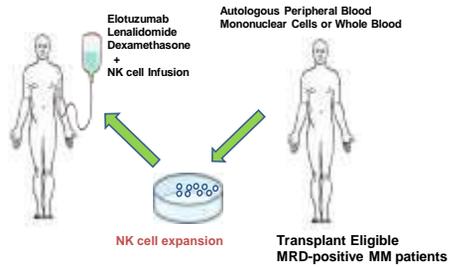


T細胞の遺伝子改変によるがん治療



今年度後半には当科で実施できるようになります！！

NK細胞の体外増幅 難治性骨髄腫へNK細胞療法 臨床試験

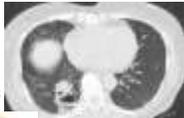


感染症

ニューモシスチス肺炎



アスペルギルス肺炎



播種性帯状疱疹



偽膜性腸炎

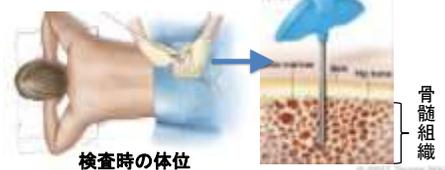


口腔内カンジダ症



骨髄検査

腸骨へ針を刺して骨髄に到達
骨髄内の血液を吸引
または、くり抜くように生検



検査時の体位

骨髄組織

骨髓採取術



中心静脈カテ



頸部 CVC

PICC



血液内科で取得できる専門医

血液専門医

- 日本血液学会

移植認定医

- 日本造血・免疫細胞療法学会

日本輸血・細胞治療学会認定医

- 日本輸血・細胞治療学会

日本がん治療認定医

- 日本がん治療認定医機構

がん薬物療法専門医

- 日本臨床腫瘍学会



専門医

血液専門医

- 内科サブスペシャルティ—専門医
- 血液内科の専門医として標榜可能

移植認定医

- 日本骨髄バンクの認定施設要件
- CAR-T療法など、各種免疫細胞療法の実施に必要な資格となってきた。

大学院etc.での研究テーマ

- 女子医大の研究室 or 国内/海外留学
- 主な研究テーマ
 - NK細胞関連遺伝子多型と造血器腫瘍経過
 - 骨髄異形成症候群でみられる遺伝子異常とその機能解析
 - プリナツモマブ投与後の同種造血幹細胞移植に関する全国調査研究

主な発表学会

- 日本血液学会
- 日本造血・免疫細胞療法学会
- 米国血液学会年次集会
- アジア太平洋骨髄移植学会
- 欧州血液学会
- 欧州骨髄移植学会

COVID-19前は毎年発表に・・・来年こそは！！

アジア太平洋骨髄移植学会 2018 in 台北

シンガポール、釜山など各地で



真面目な発表

民族衣装を纏った
受付の方と医局長

欧州骨髄移植学会 EBMT

フランクフルト

欧州各地の美しい風景
・・・と、学会発表



マルセイユ

リスボン

米国血液学会総会

血液学の学会で
最大規模の学会



学会で彼らに会える！

サンディエゴ

欧州血液学会

ストックホルム 2018年6月



アムステルダム 2019年6月

ワークライフバランスの実現

出産後の病棟復帰率 100%

- 指導医 スタッフ 6名
 - 育児中：3名
- 病棟/外来 助教 6名
 - 育児中：3名 (育休 1名)
- 病棟 後期研修医 6名
 - 育児中：2名 大学院 2名

時間外/休日は基本的に当直/オンコール対応
病棟担当も17-18時に帰宅可
お子さんの発熱時も、お互いに代理をたて休暇取得可能です

女子医大 血液内科への
入局をお待ちしています！！

東京女子医科大学
内科専門研修プログラム説明会

内科学講座 糖尿病・代謝内科学分野

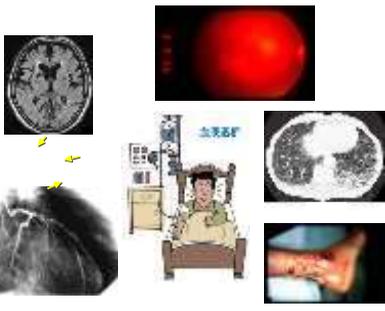


糖尿病治療は合併症予防！



糖尿病・代謝内科

- ・1975年、初代所長平田幸正名誉教授によって日本の医科大学初の糖尿病センターとして創設されました。
- ・「糖尿病があっても糖尿病をもたない人と同じ人生が送れるように医療の手をさしのべる」ことをめざし、糖尿病内科医、糖尿病眼科医、糖尿病認定看護師、糖尿病療養指導士、管理栄養士らとともにチーム医療に努めてきました。
- ・小児期から高齢者まで、1型、2型、透析の導入・管理、糖尿病妊婦、足病変など全ての糖尿病患者のトータルケアを行うことができます。



糖尿病代謝内科の診療体制



施設別糖尿病診療患者数

(2016年4月～2017年3月)

糖尿病患者数 (名)



出所：読売新聞

都内の大学病院における糖尿病・代謝内科の専門性
(2015年1月, 読売新聞)

大学	専門	受診患者数 (名)	1型糖尿病 (名)	インスリン 使用患者 (%)
● 東京女子医科大学 糖尿病センター	糖尿病, 1型・小児糖尿病, 糖尿病, 腎症, 網膜症, 腎臓, 遠位, 心臓, 脂質異常症, 肥満, 骨, フットケア	8,163	1,128	50
● 東京慈恵会医科大学	糖尿病, 1型糖尿病, 腎症	6,591	666	33
● 東京医科大学	糖尿病	5,445	145	8
● 順天堂大学	糖尿病, 動脈硬化症	3,889	292	30
● 慶応義塾大学	糖尿病, 1型糖尿病, 高血圧	3,468	108	25
● 東京大学	糖尿病, 高齢者	3,373	230	32
● 日本医科大学	脂質異常症, 糖尿病	3,262	97	24
● 杏林大学	糖尿病	2,537	230	45
● 東邦大学	糖尿病	2,424	177	21
● 昭和大学	脂質異常症, 糖尿病	1,898	159	72
● 帝京大学	糖尿病	1,181	82	28
● 日本大学	糖尿病, 1型・小児糖尿病	1,115	105	35
● 東京医科歯科大学	内分泌, 肥満, 糖尿病	282	19	36

Sensor Augmented Pump (SAP)
パーソナル持続血糖モニター (CGM) 測定
機能を搭載したインスリンポンプ



1型糖尿病に対する根治療法
-Islet Replacement Therapy-

- 臓器移植: 膵 (臓) 移植
- 細胞移植: 膵島移植
- 再生医療: ES細胞, iPS細胞, 細胞シート工学



高度肥満患者に対する Bariatric Surgery



DeMaria EJ, et al: N Engl J Med 356: 2176-2183, 2007

診療

糖尿病代謝内科患者数 (2020年)

外来

- 初診患者 (年間) 1,981人
- 1ヶ月平均患者 7,389人
- 1日平均患者 310人

入院

- 入院患者 (年間) 535人
- 平均在院日数 14.5日
- 透析導入 44件

研究

2020年度 業績

- 論文・総説 24編
- 学会報告 41編
- 主な参加学会
日本糖尿病学会
日本内科学会
日本糖尿病合併症学会
日本糖尿病眼学会
日本糖尿病・妊娠学会
日本成人病 (生活習慣病) 学会
日本透析医学会
日本フットケア・足病医学会
米国糖尿病学会
ヨーロッパ糖尿病学会 等

医局員

30名 (男性12名, 女性18名)

出産・育児休暇後は短時間勤務制度で、
外来医、病棟医として働くことも可能です。

関連病院

東京女子医科大学足立医療センター	東京都足立区
東京女子医科大学八千代医療センター	千葉県八千代市
至誠会第二病院	東京都世田谷区



糖尿病患者のトータルケアをになう一員となり、一緒に働いてみませんか！

お問い合わせ先

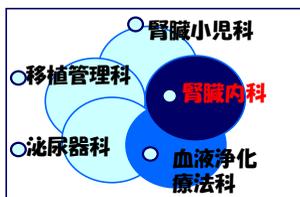
医局長 花井 豪
TEL 03-3353-8111 内線 28788
Email hanai.dmc@twmu.ac.jp

ホームページ

<http://twmu-diabetes.jp/>

東京女子医科大学腎臓内科とは

○ 診療科 **腎臓病総合医療センター**



○ 研究・教育 **腎臓内科学講座**

腎臓内科の臨床

- 腎炎・ネフローゼ
腎生検（年間100例前後）
ステロイド、免疫抑制剤の治療
- 腎不全保存期・CKD
高血圧・脂質異常症・高尿酸血症など
リスクファクターの管理・食事療法などの生活教育
腎不全患者の内科疾患全般の治療・管理
- 血液透析・腹膜透析 導入（年間100例前後）・管理
（透析用カテーテルの挿入、フラッドアクセス作成）
血液透析合併症
透析患者の内科疾患全般の治療・管理
- 急性血液浄化療法・集中治療
特殊透析、血漿交換、吸着療法

腎臓内科臨床教育の特色

- 内科臨床を基本とした、腎臓専門医療。 高度な最先端医療
 - 腎臓病総合医療センターとしての総合診療
（泌尿器科、腎臓小児科、血液浄化療法科との強い連携）
腎疾患を通じ内科全般に対応できる臨床能力の育成
専門医取得のサポート（豊富な症例）
（内科専門医・腎臓専門医・透析専門医取得可能）
予約外診察制度による外来診察の教育
地域と連携した診療（転院の積極的受入れ、逆紹介）
日常の臨床からつながる研究[学位(医学博士)の取得]
- 大学内、出張病院ともに充実した研修 充実した教育
 - 指導医：8年以上の腎臓・透析専門医
完全な班体制での診療
 - 出張病院：全て臨床研修病院
内科・腎臓・透析学会研修指定病院
→専門医取得に重要
部長はほぼ腎臓内科OB・OG

腎臓内科の関連病院

病院名	所在地	指導責任者	病床数
足立医療センター	東京都荒川区	小川 哲也	450
八千代医療センター	千葉県八千代市	小池 美菜子	501
都立大久保病院	東京都新宿区	若井 幸子	304
東京労災病院	東京都大田区	眞部 俊	400
横浜労災病院	横浜市港北区	波多野 道康	650
済生会川口総合病院	埼玉県川口市	窪田 研二	400
戸田中央総合病院	埼玉県戸田市	井野 純	492
済生会栗橋病院	埼玉県北葛飾郡	杉浦 秀和	320
日高病院	群馬県高崎市	筒井 貴朗	287
東和病院	東京都足立区	大貫 貴子	299

腎臓内科の主なアルバイト病院

病院名	病院名
竹田総合病院	大月市立中央病院
日高病院	平成日高クリニック
富岡クリニック	ときわクリニック
東和病院	秋葉原いずみクリニック
新宿石川クリニック	東京フロンティア大塚駅前クリニック
斉藤記念病院	斉藤記念クリニック
高円寺すずきクリニック	敬愛病院
阿佐谷すずき診療所	世田谷腎クリニック
吉祥寺あさひ病院	門仲腎クリニック
須田内科クリニック	須田クリニック
四谷腎クリニック	埴仁会蔵クリニック

膠原病リウマチ内科での内科研修



曜日	午前	午後
月		
火		病棟長回診 (14:30-16:30)
水		
木	診療部長回診 (9:00-11:00)	外来カンファレンス (12:00-13:00) 医局会 (16:30-17:30) (17:00-18:00)
金		
土	病棟長回診 (10:30-12:00)	
日		

関節所見がとれるようになります



関節X線が読めるようになります



関節穿刺ができるようになります



関節エコーを学ぶ機会があります



自己抗体検査のオーダーと結果のみかたを学べます



不明熱患者の体系的アプローチを学べます



- 不明熱の原因
- 感染症: 47%
 - **膠原病: 18%**
 - 悪性腫瘍: 6%
- (大嶋弘子, 内藤俊夫: 総合診療科における不明熱患者215症例の解析, 順天堂医学, 2005;51:167)
- その他: アレルギー、薬剤熱、詐熱

『内科の科学 第6版』(9784264185194) 143頁

日和見感染症の予防・診断・治療を学べます

日和見感染とは?

免疫力の低下した者が、通常では感染症を起こさないような病原体によって感染症を呈すること。
高齢者、加齢に伴うがん、免疫抑制中の患者など

主な病原体

- (1) 細菌: 菌 性 - 結核菌、肺炎球菌、緑膿菌
- (2) 真菌: 菌 性 - カンジダ菌、ニューモシスチス肺炎
- (3) ウイルス: 性 - サイトメガロウイルス感染症、ヘルペス
- (4) 原虫: 性 - クラプトスポリジウム症、トキソプラズマ

さまざまな肺疾患と画像をみる機会があります



薬剤性肺炎



ニューモシスチス肺炎

膠原病リウマチ内科

膠原病リウマチ内科/膠原病リウマチ痛風センターの現況

リウマチ性疾患（膠原病・リウマチ・痛風）に特化した体制

診療：全国トップレベルの患者数
研究：英文論文・国内外の学会発表・科研費
教育：卒前・卒後教育、IORリウマチセミナー

東京女子医科大学における
特色ある診療センター

リウマチ学における
日本のトップランナー

IOR
Rheumatology
TOKYO WOMEN'S
MEDICAL UNIVERSITY

当科の特徴

- 膠原病、関節リウマチ、痛風をはじめとしたリウマチ性疾患の患者を国内で最も多く診療している。東京女子医科大学膠原病リウマチ痛風センターの内科部門です。膠原病リウマチ内科と整形外科（リウマチ部門）、小児リウマチ科で、「膠原病リウマチ痛風センター」という1つの診療センターを形成していますが、研修は独立しています。
- リウマチ性疾患全般を対象としており（外来患者数ほどのリウマチ性疾患でも日本最大規模）、内科的治療としては最新の薬物療法を網羅し、合併症治療も含めて全人的医療を行っています。必要な症例については、整形外科（リウマチ部門）で手術もっており、関節リウマチに対する手術件数では全国1位にランクされています。
- 国内最大規模の施設の使命として、外部の若手医師を対象としたセミナーの定期的開催など、若手リウマチ医の教育・育成にも積極的に取り組んでいます。また、豊富な症例を背景とした臨床・基礎研究も活発に行い、国内屈指の業績を挙げ続けています。



診療

- ・ 膠原病リウマチ内科学年間入院症例数（COVID-19診療などのため、例年より少なめです）
 - ・ 合計313例
 - ・ 主な内訳：関節リウマチ79例、SLE51例、強皮症46例、血管炎33例、筋炎33例
 - ・ 研修医1名あたりの担当症例数は、上記を4～6で割った程度です。
- ・ 膠原病リウマチ内科学の入院症例は、おもに、膠原病～類縁疾患の精査加療、関節リウマチなどが基礎疾患の患者の合併症（感染症など）になります。さらに自科外来から多くの緊急入院を受け入れ、重篤病態も多くみえています。他科入院中の患者がリウマチ性疾患であることが判明して転科を受け入れたり、治療困難な患者を他院から転入院で受け入れることもしばしばあります。
- ・ 膠原病リウマチ内科学の外来患者数は、1日平均155名、再診患者は月3,100名、初診患者は月120名です。コロナ禍においても、外来患者数は本院全診療科においても最大規模ですが、リウマチ科としても日本最大規模です。なかでも関節リウマチは約4,000名の患者さんが通院しています。

関連病院

- ・ おもな学外関連医療施設：都立大塚病院、川崎市立川崎病院、川崎市立井田病院、さいたま市立病院、自治医科大学附属さいたま医療センター、東京山手メディカルセンターなど。
- ・ 内科専門医プログラムでは、当科を将来の志望科とする後期研修医については、連携施設での研修先として、上記病院が候補となります。

問合せ先

東京女子医科大学医学部内科学講座膠原病リウマチ内科学分野
 医局長 勝又 康弘
 TEL 03-3353-8111（大代表）
 e-mail katsumata@twmu.ac.jp
 東京女子医科大学膠原病リウマチ内科 ホームページ
<http://www.twmu.ac.jp/IOR/>



ローテーション1ヶ月の他科専攻医

剖検症例 1例
外科転科症例 2例

- ### 関連病院
- 聖隷会第二病院
 - 八王子消化器病センター
 - 埼玉県済生会栗橋病院
 - 独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター
 - 東京女子医科大学 八千代医療センター
 - 谷津保健病院

消化器領域のサブスペシャリティ

- ### 消化器領域のサブスペシャリティ
- 消化器病専門医 (会員歴 4 年以上)
 - 消化器内視鏡専門医 (会員歴 5 年以上)
 - 肝臓専門医 (申請時会員)
 - 膵臓指導医 (会員歴 5 年以上)
 - 胆道指導医 (会員歴 5 年以上)

消化器領域のサブスペシャリティ

- ### 大学病院で研修するメリット
- 学位・専門医の取得がしやすい。
 - 最先端の知識・手技を学びやすい。
 - 基礎研究や留学の選択肢がある。
 - 子育てをしながらでも働しやすい。
 - 安心、安全なアルバイトを探しやすい。

当科の業績

■ 消化器内科学分野業績一覧

年次	業績
2022	1. 消化器内科学分野業績一覧
2021	1. 消化器内科学分野業績一覧
2020	1. 消化器内科学分野業績一覧
2019	1. 消化器内科学分野業績一覧
2018	1. 消化器内科学分野業績一覧
2017	1. 消化器内科学分野業績一覧
2016	1. 消化器内科学分野業績一覧
2015	1. 消化器内科学分野業績一覧
2014	1. 消化器内科学分野業績一覧
2013	1. 消化器内科学分野業績一覧
2012	1. 消化器内科学分野業績一覧
2011	1. 消化器内科学分野業績一覧
2010	1. 消化器内科学分野業績一覧
2009	1. 消化器内科学分野業績一覧
2008	1. 消化器内科学分野業績一覧
2007	1. 消化器内科学分野業績一覧
2006	1. 消化器内科学分野業績一覧
2005	1. 消化器内科学分野業績一覧
2004	1. 消化器内科学分野業績一覧
2003	1. 消化器内科学分野業績一覧
2002	1. 消化器内科学分野業績一覧
2001	1. 消化器内科学分野業績一覧
2000	1. 消化器内科学分野業績一覧
1999	1. 消化器内科学分野業績一覧
1998	1. 消化器内科学分野業績一覧
1997	1. 消化器内科学分野業績一覧
1996	1. 消化器内科学分野業績一覧
1995	1. 消化器内科学分野業績一覧
1994	1. 消化器内科学分野業績一覧
1993	1. 消化器内科学分野業績一覧
1992	1. 消化器内科学分野業績一覧
1991	1. 消化器内科学分野業績一覧
1990	1. 消化器内科学分野業績一覧
1989	1. 消化器内科学分野業績一覧
1988	1. 消化器内科学分野業績一覧
1987	1. 消化器内科学分野業績一覧
1986	1. 消化器内科学分野業績一覧
1985	1. 消化器内科学分野業績一覧
1984	1. 消化器内科学分野業績一覧
1983	1. 消化器内科学分野業績一覧
1982	1. 消化器内科学分野業績一覧
1981	1. 消化器内科学分野業績一覧
1980	1. 消化器内科学分野業績一覧
1979	1. 消化器内科学分野業績一覧
1978	1. 消化器内科学分野業績一覧
1977	1. 消化器内科学分野業績一覧
1976	1. 消化器内科学分野業績一覧
1975	1. 消化器内科学分野業績一覧
1974	1. 消化器内科学分野業績一覧
1973	1. 消化器内科学分野業績一覧
1972	1. 消化器内科学分野業績一覧
1971	1. 消化器内科学分野業績一覧
1970	1. 消化器内科学分野業績一覧
1969	1. 消化器内科学分野業績一覧
1968	1. 消化器内科学分野業績一覧
1967	1. 消化器内科学分野業績一覧
1966	1. 消化器内科学分野業績一覧
1965	1. 消化器内科学分野業績一覧
1964	1. 消化器内科学分野業績一覧
1963	1. 消化器内科学分野業績一覧
1962	1. 消化器内科学分野業績一覧
1961	1. 消化器内科学分野業績一覧
1960	1. 消化器内科学分野業績一覧
1959	1. 消化器内科学分野業績一覧
1958	1. 消化器内科学分野業績一覧
1957	1. 消化器内科学分野業績一覧
1956	1. 消化器内科学分野業績一覧
1955	1. 消化器内科学分野業績一覧
1954	1. 消化器内科学分野業績一覧
1953	1. 消化器内科学分野業績一覧
1952	1. 消化器内科学分野業績一覧
1951	1. 消化器内科学分野業績一覧
1950	1. 消化器内科学分野業績一覧
1949	1. 消化器内科学分野業績一覧
1948	1. 消化器内科学分野業績一覧
1947	1. 消化器内科学分野業績一覧
1946	1. 消化器内科学分野業績一覧
1945	1. 消化器内科学分野業績一覧
1944	1. 消化器内科学分野業績一覧
1943	1. 消化器内科学分野業績一覧
1942	1. 消化器内科学分野業績一覧
1941	1. 消化器内科学分野業績一覧
1940	1. 消化器内科学分野業績一覧
1939	1. 消化器内科学分野業績一覧
1938	1. 消化器内科学分野業績一覧
1937	1. 消化器内科学分野業績一覧
1936	1. 消化器内科学分野業績一覧
1935	1. 消化器内科学分野業績一覧
1934	1. 消化器内科学分野業績一覧
1933	1. 消化器内科学分野業績一覧
1932	1. 消化器内科学分野業績一覧
1931	1. 消化器内科学分野業績一覧
1930	1. 消化器内科学分野業績一覧
1929	1. 消化器内科学分野業績一覧
1928	1. 消化器内科学分野業績一覧
1927	1. 消化器内科学分野業績一覧
1926	1. 消化器内科学分野業績一覧
1925	1. 消化器内科学分野業績一覧
1924	1. 消化器内科学分野業績一覧
1923	1. 消化器内科学分野業績一覧
1922	1. 消化器内科学分野業績一覧
1921	1. 消化器内科学分野業績一覧
1920	1. 消化器内科学分野業績一覧
1919	1. 消化器内科学分野業績一覧
1918	1. 消化器内科学分野業績一覧
1917	1. 消化器内科学分野業績一覧
1916	1. 消化器内科学分野業績一覧
1915	1. 消化器内科学分野業績一覧
1914	1. 消化器内科学分野業績一覧
1913	1. 消化器内科学分野業績一覧
1912	1. 消化器内科学分野業績一覧
1911	1. 消化器内科学分野業績一覧
1910	1. 消化器内科学分野業績一覧
1909	1. 消化器内科学分野業績一覧
1908	1. 消化器内科学分野業績一覧
1907	1. 消化器内科学分野業績一覧
1906	1. 消化器内科学分野業績一覧
1905	1. 消化器内科学分野業績一覧
1904	1. 消化器内科学分野業績一覧
1903	1. 消化器内科学分野業績一覧
1902	1. 消化器内科学分野業績一覧
1901	1. 消化器内科学分野業績一覧
1900	1. 消化器内科学分野業績一覧

専攻医の1週間

- 当直は月2-3回(兩棟当直、救急外来夜勤、救急外来準夜勤)
- 病棟当直は明け休み、救急外来夜勤は入り明け休み
- 夏季休暇+年休あり

	月	火	水	木	金	土	日
午前	朝回診		研究日	朝回診	医局会 新患プレゼン	朝回診	休日
	臓器別回診 (肝・胆・膵)	病棟 検査		病棟 検査	教授回診	病棟 検査	
	臓器別回診 (大腸)						
午後	病棟 検査	病棟 検査	夕回診	病棟 検査	病棟 検査		
	夕回診	夕回診		夕回診	夕回診		

Hands on Seminar 2022

消化器内科学分野の最新動向を学ぶ機会として、**Hands on Seminar 2022**を開催いたします。本セミナーは、消化器内科学分野の最新動向を学ぶ機会として、**Hands on Seminar 2022**を開催いたします。

日時 2022年7月4日(水) 18:30~20:30

場所 TKP新館カンファレンスセンター
〒162-8601 東京都目黒区三軒がわ1-1-1

Opening Remarks
徳田 茂幸 東京女子医科大学 消化器内科 教授、腫瘍学分野長

18:40~19:15 <Lecture Session>
徳田 茂幸 東京女子医科大学 消化器内科 教授、腫瘍学分野長
徳田 茂幸 東京女子医科大学 消化器内科 教授、腫瘍学分野長
徳田 茂幸 東京女子医科大学 消化器内科 教授、腫瘍学分野長

19:15~20:30 <Hands on Session>

- 1) 上野消化器内科学講座入会と内科学部研修下研修制度 (E20) トレーニング
- 2) 下野消化器内科学講座入会と内科学部研修下研修制度 (E20) トレーニング
- 3) 消化器内科学の最新動向

※ 参加費無料 (E20) トレーニング
※ 参加費500円 (E20) トレーニング
※ 参加費1000円 (E20) トレーニング



見学なども随時行なっておりますのでぜひお気軽にご連絡ください。
消化器内科 医局長 赤尾潤一
(akao.junichi@hwmu.ac.jp)

2022年7月9日(土)
内科専門研修プログラム合同説明会



東京女子医科大学
高血圧・内分泌内科のご紹介

高血圧・内分泌内科 医局長 関 康史

高血圧・内分泌内科の歴史

1954年 第二内科発足 中山光重教授

1966年 小坂樹徳 主任教授

1972年 鎮目和夫 主任教授 (内分泌学の第1人者)
以来、日本における内分泌学の中心に

1984年 内分泌疾患総合医療センター設置
腎や糖代謝とは別の内分泌疾患診療体制 (珍しい)

1989年 出村博 主任教授

1999年 高野加寿恵 主任教授

2011年 市原淳弘 主任教授

下垂体・甲状腺・副腎疾患の診療実績は日本有数

内科専攻研修において求められる「疾患群」「症例数」「高血圧的種出数」について

内臓	身体医学科完了時 研修医1名あたり	身体医学科完了時 地上量年	身体医学科完了時 超難症例	専攻医1名あたり 症例数	高血圧的種出数
総合内科(一般)	1	1以上	1		2
総合内科(内分泌)	1	1以上	1		2
総合内科(循環)	1	1以上	1		2
消化器	9	5以上	5以上		3
泌尿器	10	5以上	5以上		3
内分泌	8	2以上	2以上		3+
代謝	5	3以上	3以上		2
神経	7	4以上	4以上		3
呼吸器	8	4以上	4以上		3
皮膚	3	2以上	3以上		2

資料：「内科医」として「代謝」からほど、それぞれ1割増すべしとの趣意を以て記載する。
例：「内分泌」3割 + 「代謝」3割 + 「内分泌」1割 + 「代謝」3割

高血圧・内分泌内科 2020年診療実績

病名	疾患	件数(種別)	参考 他大学の内分泌内科年間診療実績
下垂体	先端巨大症	15	疾患
	プロラクチノーマ	17	入院患者数
	クッシング病/病後ACTH分泌	4	原発性アルドステロン症
	1型糖尿病	3	下垂体機能低下症
	非機能性下垂体腺腫	83	下垂体腫瘍
	肢端肥大症	1	クッシング症候群
	ラクチン分泌下垂体炎	21	腫瘍性骨軟化症
	中枢性尿崩症	3	原発性副甲状腺機能亢進症
	SDHAP	4	腺癌症
	下垂体機能低下症	94	先端巨大症
その他の下垂体疾患	10	先兆巨大症	
1型糖尿病	10	その他	
糖尿病性甲状腺炎	1		
橋本病	4		
その他の甲状腺疾患	8		
原発性副甲状腺機能亢進症	17		
その他の副甲状腺疾患	3		
原発性アルドステロン症	302		
Cushing症候群	24		
Adison病	11		
非機能性副腎腺腫	13		
褐色細胞腫	12		
悪性褐色細胞腫	4		
アルドステロン産生腺腫	9		
特発性アルドステロン症	37		
その他の副腎疾患	11		
パンスリン血症	2		

延べ人数、重複あり 一部の他の疾患を含みます

高血圧・内分泌内科の特徴

国際学会で発表 学会発表で受賞 都内病院への出向でできる仲間

取得できる主な専門医
内科専門医・総合内科専門医
内分泌代謝・糖尿病内科(領域)専門医
内分泌代謝科(内科)専門医
日本甲状腺学会甲状腺専門医
日本高血圧学会高血圧専門医
日本動脈硬化学会動脈硬化専門医
他






臨床・研究・教育全て頑張っています!

医局員の内訳

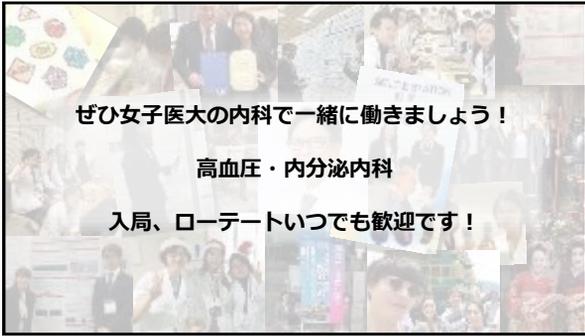
教授1名
准教授1名
講師1名
助教8名
後期研修医・大学院生10名

女性：医師21人中10人

上記のうち5名は出向中(右図)
(基本的に東京近郊)



図. 現在の医局員の出向先



ぜひ女子医大の内科で一緒に働きましょう！

高血圧・内分泌内科

入局、ローテートいつでも歓迎です！

東京女子医科大学
内科専門研修(総合内科)

竹村 洋典

東京女子医科大学総合内科学・総合診療科 教授
三重大学 名誉教授
日本内科学会認定総合内科専門医
アメリカ総合診療専門医・アメリカ家庭医療学会認定フェロー
日本専門医機構総合診療専門研修特任指導医
日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医
日本医学教育学会認定医学教育専門家

内科専門研修(総合内科)の特徴

- EMDから、比較的、プライマリ・ケアな患者が多く入院
- J-OSLERを完成させるのに必要な患者をケアする機会が多い
- EBMを実践するための教育資源が豊富
- アメリカで実践されている教育方法を導入
- 指導医の教育力が非常に高い



総合内科研修の目標

- プライマリ・ケアでよく遭遇する疾患の診療に慣れる
- 様々な診療科との連携、多職種連携に慣れる
- 診療の落としどころを見つけるコツを習得する
- J-OSLERで足りない症例をすべて経験する

総合内科研修の場

- 入院病棟（主に第1病棟8階、時にDMセンター）
- EMD（walk-in救急、中央病棟1F）
- 総合診療科外来（外来センター1F）



総合内科研修で経験する症例

- プライマリ・ケアでよく遭遇する疾患
- ほぼすべてのシステムの症例
- 特にJ-OSLER記載に必要な症例



総合診療における評価

- 朝カンファでの振り返り
- タカンファでの振り返り
- 主としてJ-OSLER



内科領域と総合診療領域のダブルボード



内科領域総合診療領域ダブルボード検討委員会(日本専門医機構)

待っているよ～～～！



ご清職ありがとうございました